

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
420006	XY3420006	2	前期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報システム特論	西山 茂			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	必修	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	必修	3年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	3年		
授業目的							
(1) 現実の社会状況に対する知見を広げるため、産官学等社会で活躍している方を講師に招き、講師の業務分野等のトピックをお話して頂く。 また、当該分野での ICT 利用方法等について学ぶ。 (2) 現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する：履修生自身が組織・運営する複数のチーム（プロジェクト）を編成する。各プロジェクトは役割分担を含む組織構成を決め、問題・課題（目標）設定、スケジュール設定を行い、進捗管理・成果管理法を決め、文書化する。計画に対する進捗を管理しながら活動し、目的達成を図る。15 回目の授業でプロジェクト活動成果を報告する。							
各回毎の授業内容							
第 1 回				第 9 回			
【授】授業オリエンテーション				【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理			
【前・後】配布資料による事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 2 回				第 10 回			
【授】外部講師による講義1 「プロジェクト管理技術」に関する講義				【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 3 回				第 11 回			
【授】外部講師による講義2 「政府・自治体等の政策・動向」に関する講義				【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 4 回				第 12 回			
【授】外部講師による講義3 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義				【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 5 回				第 13 回			
【授】外部講師による講義4 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義				【授】プロジェクト活動 目的達成のための活動、成果の最終整理、進捗管理			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 6 回				第 14 回			
【授】外部講師による講義5 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義				【授】プロジェクト活動 成果報告資料作成			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 7 回				第 15 回			
【授】プロジェクト編成 キックオフ、課題の大枠、プロジェクト内役割分担（組織）の設定				【授】プロジェクト活動成果発表			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】配布資料による事前確認・事後復習			
第 8 回				第 16 回			
【授】プロジェクト活動 プロジェクト計画書策定、計画書レビュー、目的達成のための活動				【授】講評とまとめ 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する			
【前・後】配布資料による事前確認・事後復習				【前・後】活動の整理・確認			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する。 ・外部講師講義受講アンケート及び講義受講レポート提出（各回の講義内容の要点と所感）（5 回）：35% ・プロジェクト計画書：10%、プロジェクト成果発表：40% ・活動態度：10%、及び履修生個々に行う報告時の他プロジェクト評価：5% ・プロジェクト活動は必須である。プロジェクト評価を個人成績に反映する。プロジェクトメンバに登録してもプロジェクト活動（集団活動）に貢献しなかった者は評価しない。							
教科書参考書							
・教科書はない。毎回、講義スライドのコピーを配布する（HP や Campusmate 等の電子的手段）ほか、必要があれば次回講義に関連する URL 等を紹介する。 ・各種白書（情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、等）、@IT、日経 BP 等の情報サイト							
受講に当たっての留意事項							
(1) 外部講師講義では積極的質問すること。 (2) 講義情報、受講レポート、プロジェクトチーム活動は、Campusmate 等電子的手段を活用する。 (3) 授業時間の外に、レポート作成やプロジェクト活動にある程度の時間をかける必要がある。 (4) 外部講師講義のテーマ及び授業順序は入れ替わることがある。							
学習到達目標							
(1) 5 つの講義テーマ関連領域についての最新の知識を獲得し、その要点を説明できる。（受講アンケートと受講レポートの提出：35%） (2) プロジェクトチーム活動を通じて、与えられた制約下での業務の進め方、リーダー役実践によるチームまとめ能力、チーム活動手法などを習得する。（プロジェクトチーム活動及び成果報告：65%）							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：F、G							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習